

# 15 通級指導教室ってどんなところ？

通常の学級に在籍していて、学習は成立しているけれど、特定なことに苦手がある子が、それに対する指導を受けるところです。具体的には、言語の苦手（構音・吃音・言語の発達）、行動面、特定な学習面の苦手（人とのかわり方、自分の感情や行動のコントロール、読む、書く、計算する、推論する）などです。

## 誰でも通えるの？

まず、お子さんの通っている学校の特別支援教育コーディネーターの先生に相談しましょう。通級指導は学校の授業の一部として受けます。そのため、ご本人や家族の希望だけでなく、通っている学校の意見も必要です。発達通級は診断などがが必要です。言語通級は診断は不要です。静岡市は肢体不自由の通級（清水有度第一小）もあります。

## どこにあるの？（令和4年度現在）

葵区	ことば・発達 発達	→番町小学校 →西奈南小学校
駿河区	ことば 発達	→南部小学校 →宮竹小学校
清水区	ことば・発達 ことば・発達 ことば 肢体	→川原小学校 →浜田小学校 →三保第二小学校 →興津小学校 →有度第一小学校

## 中学校にはあるの？

行動面と学習面の指導の教室が各区の学校にあります。

葵区	→未広中学校
駿河区	→大里中学校
清水区	→清水二中学校

## 教室の勉強とは違うの？ ずっと通うの？

週一回程度、その子の苦手なこと（課題）を個別やグループまたは、その両方で学びます。苦手なことに対する「自分の対処法」がわかったり、できたりしたところで、学校と通級、ご本人や保護者が話し合い、退級が決まります。

## 体験談



通級の先生と相談して、「夢を語る場所」と本人に伝え合い始めました。学校でのレッテルがない環境で、親子ともに安心・安全の場でした。通い始める前に、学校で一番苦手とする子が通級に通っていると知り、利用自体に躊躇していた時、通級の先生からの「苦手な子から学ぶこともあると思います。私に任せてもらえませんか？」のこぼれで利用することを決めました。苦手なことにも向き合う姿勢も学んだ気がします。実際に、その苦手な子とは仲良しになれました。



小学校と中学校で、言語指導教室・通級指導教室に通いました。小学校の時は、親が進路や学校とのつながりについて相談し、高学年で退級しました。中学校の時も、進路相談の他、指導方法や、友人関係トラブル、学校との連携について相談することができました。



清水区に初めて発達通級ができた時、一年生で入級しました。当時は先生も保護者も手探りだけど一生懸命でした。その経験が私達親子の土台を作ってくれたように思います。

こんなことをやってもらっていました↓

